

『消化器外科 SSI 予防のための周術期管理ガイドライン 2025』

第 1 刷 正誤表

本書第 1 刷におきまして以下の誤りがございました。訂正させていただきますとともに、謹んでお詫び申し上げます。

2026 年 3 月 17 日現在
診断と治療社 編集部

CQ3-11の図CQ3-11-6（別添資料）におきまして、解析に使用した文献に重複があったため、重複していた文献の1つを削除し、RR、95%CIを計算し直しました。それに伴い、同図ならびに表CQ 3-11-2（p.89）、本文（p.88）の記載を以下のように訂正いたします。なお、CQの解析結果に変更はございません。

別添資料 図CQ3-11-6									
Study	Experimental		Control		Risk Ratio	RR	95%-CI (common)	Weight	Weight (random)
	Events	Total	Events	Total					
Usami 2011	4	32	8	29		0.45	[0.15; 1.35]	5.6%	4.3%
Mangell 2012	5	32	10	32		0.50	[0.19; 1.30]	6.6%	5.6%
Zhang 2012	3	30	10	30		0.30	[0.09; 0.98]	6.6%	3.6%
Pellino 2013	1	10	1	8		0.80	[0.06; 10.89]	0.7%	0.7%
Zhang 2012	3	30	10	30		0.30	[0.09; 0.98]	6.6%	3.6%
Okazaki 2013	6	25	11	23		0.50	[0.22; 1.14]	7.6%	7.6%
Russolillo 2014	10	20	14	20		0.71	[0.42; 1.21]	9.3%	18.6%
Sommacal 2015	6	23	14	23		0.43	[0.20; 0.92]	9.3%	8.8%
Kotzampassi 2015	24	84	39	80		0.59	[0.39; 0.88]	26.5%	31.0%
Tan 2016	4	20	8	20		0.50	[0.18; 1.40]	5.3%	4.8%
Park 2020	2	29	10	31		0.21	[0.05; 0.89]	6.4%	2.5%
Liu 2022	7	33	14	33		0.50	[0.23; 1.08]	9.3%	8.7%
Common effect model	368		359			0.49	[0.39; 0.62]	100.0%	--
Random effects model						0.52	[0.42; 0.65]	--	100.0%
Heterogeneity: $I^2 = 0\%$, $\tau^2 = 0$, $p = 0.91$									
<p>図 CQ3-11-6 周術期プロバイオティクス・シンバイオティクス投与有無による術後総合併症発生率</p>									
Study	Experimental		Control		Risk Ratio	RR	95%-CI (common)	Weight	Weight (random)
	Events	Total	Events	Total					
Usami 2011	4	32	8	29		0.45	[0.15; 1.35]	6.0%	4.5%
Mangell 2012	5	32	10	32		0.50	[0.19; 1.30]	7.1%	5.8%
Zhang 2012	3	30	10	30		0.30	[0.09; 0.98]	7.1%	3.8%
Pellino 2013	1	10	1	8		0.80	[0.06; 10.89]	0.8%	0.8%
Okazaki 2013	6	25	11	23		0.50	[0.22; 1.14]	8.2%	7.9%
Russolillo 2014	10	20	14	20		0.71	[0.42; 1.21]	10.0%	19.3%
Sommacal 2015	6	23	14	23		0.43	[0.20; 0.92]	10.0%	9.1%
Kotzampassi 2015	24	84	39	80		0.59	[0.39; 0.88]	28.4%	32.2%
Tan 2016	4	20	8	20		0.50	[0.18; 1.40]	5.7%	5.0%
Park 2020	2	29	10	31		0.21	[0.05; 0.89]	6.9%	2.6%
Liu 2022	7	33	14	33		0.50	[0.23; 1.08]	10.0%	9.0%
Common effect model	338		329			0.50	[0.40; 0.64]	100.0%	--
Random effects model						0.53	[0.42; 0.67]	--	100.0%
Heterogeneity: $I^2 = 0\%$, $\tau^2 = 0$, $p = 0.92$									
<p>図 CQ3-11-6 周術期プロバイオティクス・シンバイオティクス投与有無による術後総合併症発生率</p>									

誤	表CQ3-11-2 周術期プロバイオティクス・シンバイオティクスの有無を比較した研究のエビデンス総体																		
	アウトカム	研究デザイン/研究数	バイアスリスク*	非一貫性*	不精確*	非直接性*	その他(出版バイアスなど)*	上昇要因(観察研究)*	リスク人数 (アウトカム率)						効果指標(種類)	効果指標信頼性	信頼区間	エビデンスの確実性**	重要性***
									対照群分母	対照群分子	(%)	介入群分母	介入群分子	(%)					
術後総合併症の発生	RCT/12	0	0	0	0	0	0	359	149	41.5	368	75	20.4	RR	0.52	0.42-0.65	高	9	

正	表CQ3-11-2 周術期プロバイオティクス・シンバイオティクスの有無を比較した研究のエビデンス総体																		
	アウトカム	研究デザイン/研究数	バイアスリスク*	非一貫性*	不精確*	非直接性*	その他(出版バイアスなど)*	上昇要因(観察研究)*	リスク人数 (アウトカム率)						効果指標(種類)	効果指標信頼性	信頼区間	エビデンスの確実性**	重要性***
									対照群分母	対照群分子	(%)	介入群分母	介入群分子	(%)					
術後総合併症の発生	RCT/11	0	0	0	0	0	0	329	139	42.2	338	72	21.3	RR	0.53	0.42-0.67	高	9	

頁	箇所	誤	正
88	本文下から9行目	術後総合併症発生率についてはRCT 12 報を解析し，RR： 0.52 （95%CI：0.42- 0.65 ）と有意に術後総合併症発生率を抑制した（ 図CQ3-11-6別添 ）。	術後総合併症発生率についてはRCT 11 報を解析し，RR： 0.53 （95%CI：0.42- 0.67 ）と有意に術後総合併症発生率を抑制した（ 図CQ3-11-6別添 ）。

以上